

危機管理課

防災関係

1 災害対策本部関係

伊勢市地域防災計画に基づき、災害の防止・軽減・応急対策を迅速に実施するため、災害対策本部を設置した。

(1) 本部設置回数 7回

年月日	警報・注意報名	備考
2. 4. 13(月)	暴風・波浪警報、大雨・雷注意報	
2. 7. 8(水)	大雨(土砂災害)警報、雷注意報	
2. 7. 25(土)	大雨(土砂災害)・洪水警報、雷注意報	
2. 9. 6(日) ～ 9. 7(月)	大雨(土砂災害)・波浪警報、強風・雷・洪水注意報	台風第10号
2. 9. 25(金)	大雨(土砂災害、浸水害)警報、雷・洪水注意報	
2. 10. 9(金) ～ 10. 10(土)	大雨(土砂災害)・波浪警報、雷・強風注意報	台風第14号
3. 3. 12(金) ～ 3. 13(土)	大雨(土砂災害)警報、雷・強風・波浪・洪水注意報	

2 災害対策本部の体制強化

(1) B C M (伊勢市業務継続マネジメント) 定例会の開催

各部、各チームが主体性を持って B C M に取り組むために B C M 定例会を開催した。本年度から配布資料を全て電子化し、参加者はタブレット端末等で資料確認をしながら、課題に対する対策の進捗状況について報告等を行った。

また、令和2年度に着手し、令和3年度に完成した伊勢市業務継続計画(新型コロナウイルス感染症対策編)についても情報共有し、課題を抽出した。

ア 第7回 B C M 定例会

- ・実施年月日 令和2年8月28日(金)
- ・参加者 市長、副市長、各チーム長及び部局長、各総合支所長
- ・講評者 川口 淳 氏(三重大学)

イ 第8回 B C M 定例会

- ・実施年月日 令和3年3月23日(火)
- ・参加者 市長、副市長、各チーム長及び部局長、各総合支所長
- ・講評者 川口 淳 氏(三重大学)

(2) 図上訓練の実施

図上訓練の実施体制の習熟度を上げるため、災害対策本部となる防災センターでの災害対策業務を経験することを目的に職員を対象とした図上訓練を次のとおり予定したが、令和2

年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

ア 第1回図上訓練(中止)

- ・ 予定年月日 令和2年7月
- ・ 参加者 約300名程度
- ・ 訓練内容 災害対策本部における情報共有のルール確認や災害対応の目標の企画・立案方法を理解することを目的として、令和元年度東日本台風で得られた教訓を学ぶための訓練

イ 第2回図上訓練(中止)

- ・ 予定年月日 令和3年1月27日(水)
(令和2年11月20日(金)の第1回コントローラー会議は実施)
- ・ 参加者 約80名(新型コロナウイルス対策として例年の参加者より約2割減とした)
- ・ 講師 菅野 拓 氏(京都経済短期大学)
川口 淳 氏(三重大学)
- ・ 訓練内容 災害時の行政職員の行動について講義及び災害対応の企画能力向上を目的とした状況付与型図上訓練

3 自主防災隊資機材購入事業

令和元年度に結成し、活動を開始した新規結成自主防災隊に防災資機材等を購入し、交付した。

- (1) 自主防災隊 ライブリーシティ伊勢前山自治会 自主防災隊(令和元年8月1日結成)
- (2) 支出額 722,249円
- (3) 交付資機材 LEDランタン、LEDライト、ラジオ、拡声器、スタンドライト、コードリール、トランシーバー、折りたたみリヤカー、角型ショベル、工具セット、折りたたみ自転車、ヘルメット

4 自主防災隊補助事業

伊勢市自主防災補助金等交付要綱に基づき、防災資機材や備蓄食料等の整備及び訓練に対し、次のとおり補助金及び助成金を交付した。

- (1) 自主防災組織結成数 134隊(令和3年3月31日現在)
- (2) 訓練助成金 54件 1,620,000円
- (3) 防災補助金 99件 13,314,000円
 - ア 自治会 28件 1,563,000円
 - イ 自主防災組織 71件 11,751,000円

5 地域防災力向上支援事業

(1) 防災講習・防災訓練の実施

南海トラフ地震等の大規模地震の発生が危惧されている中、地域における防災の取組を促進するため、自治会、自主防災組織、まちづくり協議会及び小中学校や高校、企業等からの要請に応じ、感染防止対策を講じたうえで、防災講習や防災訓練指導を実施した。

- ア 実施回数 60回
- イ 参加人数 2,338名
- ウ 実施内容
 - ・緊急時の行動や家庭内での防災対策の説明
 - ・児童、生徒、従業員（外国人実習生含む。）等への防災教育
 - ・災害時の避難行動訓練指導

(2) 三重県・伊勢市ほか総合防災訓練の実施

新型コロナウイルスが拡大する中で南海トラフ巨大地震が発生した場合を想定し、救出救助、被災者支援、物資搬送などの連携を図ることを目的とした「三重県・伊勢市・玉城町・度会町総合防災訓練」を実施した。

- ア 日時 令和2年11月15日（日）
- イ 会場 伊勢市立桜浜中学校、伊勢志摩総合地方卸売市場、三重県広域防災拠点など
- ウ 訓練内容

ヘリコプターによる救出救助訓練、自衛隊車両による被災者移送訓練、ドローンによる被害状況調査訓練、物資搬送訓練、新型コロナウイルス感染防止対策を実施した地域住民による避難所運営訓練

- エ 参加人数 850名

(3) 地域防災マップ作成事業

住民が災害に強いまちづくりを行うことを目的として、防災について話し合い、顔の見える関係を作り、地域課題の共有や改善を行うため、地域住民の力で行うタウンウォッチング説明会を実施し、地域防災マップの作成を行っている。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため説明会を中止したが、過去の説明会に参加した常磐西世古町内会から要望があり作成した。

- ア 説明会 中止
- イ 作成実績 常磐西世古町内会 計1自治会

(4) 高齢者等宅家具固定事業

過去に発生した大規模な地震では、住宅内の家具の転倒により多くの死傷者が発生した。特に高齢者、障がい者の方が被災されるケースが多数見受けられたため、高齢者等を対象に家具固定事業を実施した。

- ア 申込件数 21件
- イ 申込期間 令和2年8月3日～令和3年1月29日

(5) 自主防災隊リーダー研修会の開催

地域の自主防災組織活動の中心的役割を担うリーダーの育成を図るため、伊勢市防災大学の講習と合わせて研修会を防災センターで実施しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

(6) 伊勢市防災コーディネーター事業

市民の防災活動の普及・防災意識の高揚を図るため、防災士資格を持つ市民の中から防災コーディネーターを認定し、地域の防災啓発活動のサポート等を行った。

伊勢市防災コーディネーター 41名(令和3年3月31日現在)

(7) 親子防災デイキャンプの開催

夏休みを利用し、小学生及びその保護者を対象に防災センターにおいて、非常食の試食や応急手当の体験、避難所疑似体験などを通じ、災害に対する備えについて学び、防災に対する意識の向上を計画していたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

6 防災センター運営事業

平成28年4月1日にオープンした伊勢市防災センターは、市民の防災に関する知識の普及及び技術の向上並びに防災意識の高揚を図るとともに、災害時における災害対策本部として運用しており、防災の拠点として施設の管理、運営を行った。

(1) 管理運営方法

市が直接管理し、使用料は無料で運営している。(12月28日から翌年1月4日までは休館)

(2) 利用状況

年度	体験学習室	研修室1	研修室2	研修室3	多目的ホール	小計	イベント	合計
H28	8,055人	3,226人	214人	236人	4,023人	15,754人	2,300人	18,054人
H29	6,444	4,796	261	605	3,673	15,779	1,550	17,329
H30	6,187	4,238	240	597	4,825	16,087	1,700	17,787
R元	6,526	4,023	314	313	5,235	16,411	1,550	17,961
R2	2,586	1,859	173	191	3,070	7,879	0	7,879

(3) 実施イベント

ア 消防・防災フェスタ(中止)

消防本部と共催で「消防・防災フェスタ」を令和2年6月28日(日)に防災センターで開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

イ 救急と災害を考える集い(中止)

伊勢地区医師会・伊勢保健所等と共催で「救急と災害を考える集い」を令和2年9月6日(日)に開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

(4) 伊勢市防災大学

防災について、総合的に学ぶ機会を提供し、防災知識の豊富な人材を育成し、地域の防災力向上及び災害に強いまちづくりを支援するため、伊勢市防災大学を開校する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

回	年月日	内 容	講師等
第1回	2. 7.19	・開校式 ・防災講演	三重大学 川口 淳 氏
第2回	2. 8.23	・防災講演 「避難スイッチ」	京都大学 竹之内 健介 氏
第3回	2.10.18	・防災演習 「クロスロードゲーム」	伊勢市防災コーディネーター
第4回	2.11.29	・視察研修(兵庫県)	北淡震災記念公園 野島断層保存館
第5回	3. 1.31	・防災講演 「災害時のこころのケア」	兵庫県こころのケアセンター 大澤 智子 氏
第6回	3. 2.21	・防災食クッキング	だんだんキッチン 大須賀 由美子 氏
第7回	3. 3.14	・修了式 ・学んだこと発表会	

7 備蓄物資整備事業

伊勢市備蓄計画に基づき非常用食糧等の更新や防災資機材の購入などの整備を実施した。また、避難所における新型コロナウイルス感染症対策として衛生資材の購入を行った。

(1) 備蓄物資及び防災資機材

種 類	品 目	R2購入	備蓄総量	備蓄目標
食糧	ビスケット	12,250食	61,930食	71,065食
	お粥	2,750食	10,422食	11,521食
	粉ミルク	10,000食	10,000食	14,240食
	液体ミルク	720食	720食	720食
飲料水	ペットボトル(500ml)	11,016本	190,693本	555,345本
生活必需品	アルミシート(簡易毛布)	10,200枚	52,924枚	83,422枚
	紙おむつ(子ども用)	4,048枚	67,902枚	66,532枚
	紙おむつ(大人用)	4,794枚	29,976枚	27,814枚
	生理用品	10,320枚	60,174枚	142,647枚
	使い捨て哺乳瓶	1,000本	7,070本	9,687本
避難生活施設 運営資機材	投光機(バルーン型含む)	21台	162台	225台
	屋内用テント	5台	92台	90台
	ポータブル電源	1台	1台	-

ビスケット及び飲料水には職員用備蓄も含む。

(2) 衛生資材

種類	品 目	R2購入	備蓄総量
衛生資材	マスク	36,000枚	55,000枚
	ガウン	2,520着	2,520着
	手指消毒液	336本	336本
	手指消毒液(詰め替え)	65本	60本
	ハンドソープ	393本	393本
	消毒液	60本	60本

消毒液用ボトル	288本	288本
消毒液用ボトル(ノズル)	288個	288個
プラスチックグローブ	15,000枚	15,000枚
フェイスシールド	2,800個	2,698個
ペーパータオル(1パック200枚)	520パック	520パック
レジャーシート	3,300枚	3,294枚
レジ袋	20,400枚	20,400枚
簡易ベッド	100個	175個

年間 10 回程度の避難所開設を想定

8 防災行政無線管理運用事業

災害時における住民への適切な情報伝達手段である防災行政無線を適切に運用するため、既存の屋外拡声子局のバッテリー交換を行った。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市地内	防災行政無線屋外拡声子局バッテリー交換等業務委託	バッテリー交換 33か所 機器調整 一式	円 7,590,000	2. 9.25	3. 3. 1

9 防災行政無線整備事業

商用電源の確保が困難であり、太陽光発電等で運用する鍛冶屋峠再送信局が平成 30 年度豪雨により、保守運用が困難となっていることから、上野小学校地内に再送信局を新設し、横輪町及び矢持町地内の再々送信局及び拡声子局の調整等の整備を実施し、電波伝搬の確保を行った。

(1) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
上野町 地内ほか	(注) 防災行政無線再送信局 移設工事	無線再送信局移設 一式	円 30,800,000	2. 6. 8	2.12. 4

(注) 営繕課施行

10 災害協定の締結

民間事業所等と災害時の応援協定を次のとおり締結した。

締結先	締結年月日	協定の名称
中部電力パワーグリッド株式会社	2. 6.15	各種災害時におけるマルチコプターを用いた情報収集および情報連携に関する協定
株式会社 キナン 伊勢営業所	2. 8.26	応急対策資機材の供給に関する協定
株式会社 油米	2. 8.26	災害時における石油類燃料の供給に関する協定

株式会社 油米	2. 8.26	災害時における帰宅困難者に対する支援に関する協定
ヤマト運輸株式会社 三重主管支店	2.10.29	災害時における物資の輸送等に関する協定
株式会社 グリーنز	2.11.30	災害時における災害時要配慮者に対する宿泊施設等の提供に関する協定
日本下水道事業団	2.11.27	伊勢市・日本下水道事業団災害支援協定
シンフォニアエンジニアリング 株式会社	3. 2. 4	津波発生時における津波緊急避難所としての使用に関する協定
静岡県袋井市	3. 3.25	災害時相互応援協定
静岡県袋井市	3. 3.25	原子力災害時における袋井市民の県外広域避難に関する協定
三重県 三重県生活協同組合連合会 四日市市消防本部ほか14消防本部	3. 3.29	緊急消防援助隊三重県大隊等の応援出動における食料等の供給に関する協定

(注) 協定締結数 123件 (令和3年3月31日現在)

11 災害用民間井戸登録の普及

災害時における生活用水の確保と市民の防災意識の向上を図るため、災害用井戸の登録を募集し、水質検査を実施した。また、登録井戸一覧をホームページに公表するとともに自治会に周知した。

(1) 登録件数 245件

(2) 募集期間 令和2年5月1日～令和2年11月30日

12 避難所感染防止対策事業

避難所における新型コロナウイルス感染症のリスクを低減させるために、感染防止対策の一環として感染対策資機材の購入と、避難所運営に関する勉強会等を実施した。

(1) 避難所感染対策資機材

品 目	R2購入	備蓄総量
段ボールベッド	108個	135個
パーテーション	142個	178個

不足した場合は、災害協定や流通備蓄により対応

(2) 避難所運営に関する勉強会等

ア 避難所担当職員研修

- ・実施年月日 令和2年6月12日(金)
- ・参加者 避難所担当職員
- ・講師 谷崎隆太郎 医師(伊勢総合病院内科副部長)
- ・内容 避難所運営マニュアルの確認に加えて、新型コロナウイルスに関する基礎的な知識や避難所での留意事項について専門家からの講義

を受講した。

イ 伊勢市避難所モデル検証訓練

- ・実施年月日 令和2年7月31日（金）
- ・実施場所 旧豊浜中学校
- ・参加者 市長、副市長、部長級職員、避難所担当職員、医療保健チーム
- ・内容 新型コロナウイルス感染症対策を実施した避難所運営を目標として、構築したモデルの課題を抽出した。

危機管理関係

1 新型コロナウイルス感染症対策本部会議

国内外で感染が拡大している新型コロナウイルス感染症に対し、「伊勢市新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、感染防止対策や市民に対する支援や補助など市の方針決定などを実施している。

ア 実施回数

令和元年度 15回（令和2年1月～令和2年3月）

令和2年度 17回（令和2年4月～令和3年3月）

イ 内容

感染防止対策の徹底、市主催イベント基準の作成、公共施設の貸館等の取扱い、大型連休や年末年始の観光対策、市民・事業者への各種支援、職員の勤務体制などの方針等の決定や情報共有など

防犯関係

1 伊勢市防犯推進協議会

「伊勢市防犯活動の推進に関する条例」の目的を達成するために、事業計画を策定し、市民の防犯意識の高揚と自主防犯活動の推進を図り、より安全で安心できる市民生活の確保に努めた。

（1）地域安全講習会

年々増加する特殊詐欺事案や不審者からの声かけ事案を未然に防止するため、自治会、老人会、幼稚園、保育園等へ出向し講習会を開催した。

開催回数：26回 受講者数：781名（内訳：大人310名、幼児471名（保護者含む。））

- 内 容
- ・防犯DVDや特殊詐欺事案の寸劇による啓発（振り込め詐欺など）
 - ・伊勢警察署員及び伊勢度会地区生活安全協会職員による管内の犯罪等の発生状況、事例に沿った犯罪の手口とその対策方法について寸劇を行った。
 - ・防犯アドバイザーによる地域の防犯対策について講話を行った。
 - ・子供連れ去り事案防止教育の「いかのおすし」を題材とした紙芝居ビデオ及び別添「五つの約束」について園児に対し分かりやすい講話を行った。

(2) 防犯パトロール

児童・生徒に対して登下校時に発生している不審者による声かけ事案等からの被害防止を図るため、青色回転装備車で防犯パトロールを実施した。

実施回数：92回

(3) 防犯情報による啓発

伊勢警察署や市内の学校から寄せられた不審者情報や振り込め詐欺情報、犯罪発生情報の「防犯情報」を、防犯メール登録者に配信し、注意喚起と啓発に努めた。

配信回数：18回

(4) 防犯情報の提供及び対応

警察等からの不審者情報や振り込め詐欺情報を自主防犯団体や関係機関へ情報提供し、パトロール活動や注意喚起を要請した。

(5) 防犯推進地区

地域住民が防犯に対する理解と認識を深め、連帯意識を高めて、自主的な地域安全活動を推進できるよう地区を指定し、自主的な防犯活動の支援を行った。

指定期間：令和元年度～令和2年度 指定地区：通町自治会、村松町会

指定期間：令和2年度～令和3年度 指定地区：桜木町自治会

2 伊勢市自主防犯団体連絡会

自主防犯団体相互の連携と資質の向上に積極的に取り組み、伊勢市内の防犯パトロール活動の活性化と市民の防犯意識の高揚を図った。

(1) 街頭啓発活動

毎月第1、第3金曜日に合同（伊勢警察署、伊勢度会地区生活安全協会、伊勢市自主防犯団体連絡会）で、大型店舗前で街頭犯罪や振り込め詐欺等の特殊詐欺被害防止のため、街頭啓発を行っているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

(2) 全国地域安全運動

全国地域安全運動の期間中（10月11日～20日）に伊勢警察署及び伊勢度会地区生活安全協会、伊勢市自主防犯団体連絡会と合同で、伊勢市駅、宇治山田駅前周辺での啓発活動を行っているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

(3) 安全安心フォーラムin伊勢講演会

地域住民が防犯意識を高め、地域ぐるみで防犯活動に取り組むことで、より安全で安心なまちをめざすための講演会を開催しているが令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

3 防犯灯LED化推進事業

夜間に路上で発生する犯罪等を防止するため、防犯灯の設置及び省エネ効果が高いLED灯への取替えを推進するとともに、自治会が所有する防犯灯の整備等の補助金及び助成金を交付し、地域の防犯環境の整備を支援した。

(1) 防犯灯に係る補助金及び助成金交付

- ・ 防犯灯新設 87灯 (旧伊勢57灯、旧二見11灯、旧小俣14灯、旧御園 5 灯)
 - ・ L E D 取替 860灯 (旧伊勢632灯、旧二見66灯、旧小俣71灯、旧御園91灯)
 - ・ 防犯灯修繕 58灯 (旧伊勢39灯、旧二見 7 灯、旧小俣 8 灯、旧御園 4 灯)
 - ・ 防犯灯電気代 13,788灯 (旧伊勢10,007灯、旧二見917灯、旧小俣2,003灯、旧御園861灯)
- (注) 13,788灯のうち13,165灯が L E D 灯への取替えが完了し、L E D 化率は95.5%となった。
- (令和 3 年 3 月31日現在)

4 防犯カメラ設置推進事業

安全で安心なまちづくりを推進するため、防犯対策の一環として、防犯カメラを設置する自治会に補助金を交付し、地域の防犯環境の整備を支援した。

(1) 防犯カメラに係る補助金交付

- ・ 防犯カメラ新設 72台 (旧伊勢48台、旧二見 5 台、旧小俣19台)

防 災 施 設 整 備 課

避難所等整備事業

1 避難生活施設等の環境整備

災害時に避難者が利用する避難生活施設等の環境整備を実施した。

(1) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
神田 久志本町 地内	(注1) 倉田山中学校 避難所施設整備 工事	マンホールトイレ等 の整備 一式	円 36,617,900	2. 5.29	2.11. 9
二俣 4丁目 地内	伊勢宮川中学校 避難所施設整備 工事	マンホールトイレ等 の整備 一式	20,381,900	2. 6.19	2.11. 4
旭 地内	(注2) 宮山小学校屋内 運動場トイレ改修 工事	バリアフリートイレの 整備 一式	2,840,200	2. 6.26	2. 8.24
黒瀬 町内 地内	(注3) 伊勢市生涯学習 センター避難所 施設整備工事	マンホールトイレ等 の整備 一式	25,131,700	2. 7.27	2.12.18
小俣 元町 地内ほか	(注4) 小俣小学校ほか 避難所施設整備 工事	マンホールトイレ等 の整備 一式 【整備箇所】 ・小俣小学校 ・明野小学校	86,221,300	2. 8.28	3. 3.17
楠部 町内 地内	(注4) 修道小学校避難所 施設整備工事	マンホールトイレ等 の整備 一式	19,096,000	2. 9.11	3. 2.26
一色 町内 地内	一色町津波避難 施設照明灯設置 工事	ソーラー照明灯設置 3基	4,004,000	2.10. 9	3. 1. 6
小俣 明野 町内 地内	明野小学校災害用 マンホールトイレ 保管庫設置工事	災害用マンホールトイレ 保管庫 1棟	902,000	2.11.11	3. 1. 8
楠部 町内 地内	修道小学校災害用 マンホールトイレ 保管庫設置工事	災害用マンホールトイレ 保管庫 1棟	885,500	2.11.18	3. 1.15
小俣 元町 町内 地内	(注2) 小俣小学校屋内 運動場トイレ改修 工事	バリアフリートイレの 整備 一式	2,610,300	2.12.25	3. 2.22

小 俣 町 元 町 地 内	小俣小学校災害用 マンホールトイレ 保管庫設置工事	災害用マンホールトイレ 保管庫 1棟	円 1,078,000	3. 1. 7	3. 3. 5
大 湊 町 地内ほか	避難所看板設置 工事	避難所看板設置 3基	1,002,100	3. 1.12	3. 3.15
宇治浦田 2 丁 目 地 内	(注2) 進修小学校屋内 運動場トイレ改修 工事	バリアフリートイレの 整備 一式	2,889,700	3. 1.29	3. 3.15
計	13件	-	203,660,600	-	-

(注1) 令和元年度から繰越

(注2) 営繕課施行

(注3) 基盤整備課施行

(注4) 下水道建設課施行

(2) 備品関係

マンホールトイレ備品購入箇所	金 額
小俣小学校、明野小学校 伊勢宮川中学校、伊勢市生涯学習センター(4施設)	円 10,061,150

2 備蓄倉庫等の整備

災害時に必要な物資を備蓄する倉庫等の基本検討業務を実施した。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市内	(注) 防災備蓄倉庫等 基本検討業務委託	防災備蓄倉庫等基本 検討業務 一式	円 3,430,000 【契約額】 11,451,000 [令和2年度] 3,430,000 [令和3年度] 8,021,000	2.11.19	4. 3.18

(注) 令和3年度債務負担行為

合計は、各行の最上段を合算

3 地震自動解錠付防災ボックスの設置

統合により新設されたみなと小学校及び協定により津波緊急避難所に指定するシンフォニアエンジニアリング株式会社に対して、24時間いつでも建物内への避難が可能となるように、地震を感知した時に解錠する防災ボックス(鍵ボックス)を設置した。

設 置 場 所	金 額
みなと小学校、シンフォニアエンジニアリング株式会社	円 592,240